



伊奈学園同窓会会長
原 雅之 [1期4A・芸術(美術)]

「強く願えれば夢は叶う」よく耳にする言葉
だが本当なのだろうか？我々を取り巻く環境
では成功も失敗も混在しているが、最初から
失敗するため行動している人はいないだろう。
ではその結果の違いはどこから来るのか。

失敗は成功の元と言ふが失敗から学ぶこと
は実際に多い。成功するまであきらめず、工夫し
続け、絶対できると信じる気持ちが大切です。
ぐにあきらめてしまう人、無理だと思い込む人
に成功の一文字は訪れない。

私は24歳で建築家になることを決意し、今
では小さながらも一級建築士事務所を構え、
名前を検索すれば建築家としてヒットするよ
うになった。しかしその過程で失敗と挫折を経
験し、同時に多くのことを学び、絶対にあきら
めないと心に決めた。思考が変われば行動が変
わり、行動が変われば結果が変わる。

皆さん、自分を信じ
る強さをエネルギーに
変え、勇気を持つ一歩
踏み出し、夢をカタチ
にしよう！



01 会報誌「Inajin」を送付しています

伊奈学園同窓会では、みなさんに配布した会報誌「Inajin」を制作しています。この春号のほかに年一回、会員の方々のお手元に送付しています。各県で活躍されているOB・OGの情報、母校・伊奈学園のトピックス、同窓会の活動内容などの情報を届けます。同窓会では、この会報誌を卒業生と母校をつなぐコミュニケーションツールとして充実させてまいります。ご期待ください。

02 公式HPとしてウェブサイトを運営

同窓会ではウェブサイトを開設しています。同窓会からの連絡やイベントの告知、伊奈学園と連動した最新の情報など、随時アップしていきます。また、住所変更やメールアドレスの登録、同窓会へのご相談、問い合わせのメールもウェブサイトから受け付けています。



第三代・西村憲弘校長、応援団の歴代顧問の先生も参加されました

03 年次活動に対する補助金制度があります

同窓会では、会員の皆さんの交流をより活性化させることを目的に、「年次活動補助金制度」を設けています。各（卒業）年次ごとのイベントに同窓会から一定額を支給します。ぜひ、ご活用ください。

詳しく述べては、年次組織管理担当の渡辺までHPよりお問い合わせください。また、年次理事はHP理事とは別に、随時募集しておりますので、皆さんの参加を重ねてお願いします。

04 ホームカミングパーティーを開催しています

昨年10月に、第3回「ホームカミングパーティー」を開催しました。7～9期の卒業生を対象に、当時の校長先生はじめ50名を超える方々にご参加頂きました。例年どおり、皆さんに楽しい時間を過ごしていました。今後も同窓会では、このよつないイベントを開催・主催して参ります。HP等をチェックして、ぜひともご参加ください。また、開催のご連絡が滞らないよう、卒業後、引っ越しや御結婚などによりご連絡先が変更になる場合は、HPから住所変更の手続きをお願いします。

05 母校の在学生との交流にも参加しています

現役生に伊奈学園を卒業した先輩達の経験談を聞く場を設け、進路の参考にしてもらおうのがこの企画の趣旨ですが、伊奈学園を卒業した先輩後輩をつなげる役目も持っています。実際にこの企画を通して知り合った方たちが公私に渡って新しい「縁」を築いています。来年度以降も開催していく予定です。ご興味のある方は、ぜひともご参加ください。



同窓会から講師として35名、スタッフとして2名が参加しました

06 みなさんの参加について

同窓会では伊奈学園OB・OGが世代を超えて「交流できる場」を目指しています。他校と比べて歴史の浅い伊奈学園同窓会は、まだまだ未完成です。組織となる可能性があるともいえます。伊奈学園に学んだ仲間として、柔軟で個性的な発想を活かし「新しいスタイルの同窓会」を一緒に作っていきますが、せんか？私たち役員も10数年前には、みなさんと同じ制服を着て同じ教室で3年間を過ごしました。

同窓会では各種活動に参加してくれる会員の方を待っています。みなさんの若い力で、同窓会に新しい風を吹き込んでください。伊奈学園同窓会は開かれた組織です。

STAFF

Editor in Chief : 早坂拓紀(13期4A・体育系)
Editor / Writer : 石田陽子(2期1G・理数／エディトリアルチーム風見鶲)
Writer : 岡村好恵(2期6E・人文)
Designer : 山田大介(9期1I・人文／旧姓・田代)
Photographer of Cover : 小島英行(7期2C・人文)
Photographer : 清水啓介(15期2L・人文)

お問い合わせ

Mail ina-doso@inagakuen.on.arena.ne.jp
Web <http://www.inagakuen.on.arena.ne.jp/>

発行 / 伊奈学園同窓会

編集 / 会報誌編集委員会

Inajin
vol.31

INAGAKU STYLE

「好き」は仕事にできる！

菊池 安恒さん
1996年度卒
エンジニア

伊奈学園で過ごす時間には限りがありますが
その絆は同窓会を通して途絶えることなく続きます
さらに新たな交流が生まれるのが同窓会です
今年も皆さんの道標となる先輩たちを紹介します

Inajin

31
vol. 2011 Spring

埼玉県立伊奈学園総合高等学校 同窓会会報誌



903A1018

このゆうき
7期・理数系／パソコン部。東京工芸大学に進学してパソコンの構造を学ぶ。新聞広告の製作会社で画像処理を担当しフォトショップを習得。2年後に転職し、念願のゲーム会社に入社するが、実力が追いつかない感じで再び転職。

相反する性能とディティール制約の中で取り組む製品化

相手に求められる仕上がりを納得させる
鉄道マニアを納得させる
仕上がりを求めて東奔西走

今野さんが勤めるマイクロエースは、Nゲージに代表される鉄道模型を製造・販売するメーカー。自作用のパートではなく、完成型の商品を扱う大手4社のうちの二つだ。

鉄道模型というと玩具のイメージが強いが、Nゲージは1/150スケールでボディの細部や車内までも忠実に再現する精巧なもの。

蕨市内の本社にはスタッフが12名。企画部の4名で年間100アイテムを製品化するため、一人で大小10件程を担当。一つの製品が新規で完成するまで約1年半を要する。

製品化を決める企画会議から、資料集めや実地調査、さらに設計・工場などの進行管理も今野さんの仕事。入社後すぐ「担当を持ち、実践的

小遣いを注いだ車から

電気への情熱がはじまった

物づくりした時から「こんな

が好きでした。父にラジオの制作

キットを買ってもらったのをきっかけ

に、ミニ四駆、竹トンボまで自作して

ました。

特に車が大好きでお小遣いは全部ミニ四駆を使っていましたが、中学に入り、雑誌でファミコンの改造をしている人が出ていて「そんなことができるんだ」と衝撃が走りました。電気を勉強するようになったのはそれからです。

高校で取った自動車工学の授業で本物の車を初めていじりました。先生は現役の企業の部長さん。これが楽しくて、車に手応えを感じました。ちょうどこの頃、車のチューニングで稼いでいる人が雑誌に出てたりして車が儲かるのことを知り、将来は車で独立することに決めました。

好きなことで食っていきたいという思いはその頃からありましたね。一方で電気の勉強もしていましたね。が目に見てわかる車と比べて難しく、独学の限界を感じました。大学



30歳

伊奈学園同窓生の異業種交流会に参加する

先輩の意識の高さに圧倒される

車のチヨーニング会社で内定ができる

が条件面で不安を感じ断る

27歳

結婚を控える中で転職活動を開始

車のチヨーニング会社で内定ができる

26歳

はじめて自動車改造で公認取得書類作成からすべて自分で行い完成させ達成感を味わう

22歳

電気を現場で学びたいと

帝京大学理工学部

船井電機(株)の子会社である

電気電子システム工学科へ入学

18歳

電気を理解することに必要性を感じ

帝京大学理工学部

船井電機研究所へ入社

きくち やすのぶ

11期・理数系／スキーチーム。冬は大会で1ヵ月学校へ行けないため、その時期習った分野は今でも苦手。売っているものでも自作したくなるため、時には材料費の方が高くつくことも。いくらのしようゆ漬けは筋子からつくれるようになつたので、次は福神漬とかもつくりたい。奥さん、1男1女の4人家族。

944G0919

INAGAKU STYLE

自分につくれないものはない

お小遣いを注いだ車から
電気への情熱がはじまった

と就職先を電気の分野にしたのは
「わかるようになりたい」からです。
就職活動は当時「氷河期」と呼ばれた時代。みんなが四苦八苦しんでいましたが、僕はベンチャーならライバルだろうと小規模な企業を狙いました。その方が仕事を任されて、より勉強になるとも思いました。

これは正解でした。入社1年目から小額ながら決裁権がもらえるんです。一から十まで自分の手で開発でき本当に色々なことを吸収しましたね。

今は親会社に統合されたことで、組織の歯車になってしまったことを実感します。車にも電気が必要不可欠な時代、電気からのアプローチは有利なはずなんですが、家に帰れば2人の我が子が僕を待っていて(笑)、勉強不足は必至です。

今、親会社に統合されたことで、組織の歯車になってしまったことを実感します。車にも電気が必要不可

欠な時代、電気からのアプローチは有利なはずなんですが、家に帰れば2人の我が子が僕を待っていて(笑)、勉強不足は必至です。

車の改造も続けています。今の車は2台目。実は就職してすぐ買った1台目が事故でダメになってしまったんです。落ち込む前に「止まらない車をつくったのが悪い。どうしたら止まるんだ」と考えました。失敗を次の改造に生かす。ものづくりの基本です。

最近入ってくる社員たちをみると、ものづくりの好きな奴が少ないなど感じます。幼いころ、機械を分解したりした経験が少ないのに、この楽しさを若い世代に伝えていきたい、自分の姿を後輩たちにみせることでそれが出来たらと思います。もちろん、デザインや樹木の描き方も教わりります。

私が専攻しているランドスケープ

（環境デザイン）の講義は緑地計画といい、庭園の歴史や景観設計とは何かというところから学んでいませんか？実際農学科は女子が3割以上を占めています。

私はゼミに無事所属でき、初めての課題である屋上緑化のコンペに取り組んでいるところです。

イングリッシュガーデンが好きな学といい、庭園の歴史や景観設計とは何かというところから学んでいませんか？実際農学科は女子が3割以上を占めています。

現在は入学前から目標していた先生のゼミに無事所属でき、初めての課題である屋上緑化のコンペに取り組んでいます。

私が専攻しているランドスケープ

（環境デザイン）の講義は緑地計画といい、庭園の歴史や景観設計とは何かというところから学んでいませんか？実際農学科は女子が3割以上を占めています。

私はゼミに無事所属でき、初めての課題である屋上緑化のコンペに取り組んでいます。

私はゼミに無事所属でき、初めての課題である